

指定管理者評価表

様式1

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立日高少年自然の家	
(2) 施設の設置目的	
豊かな自然環境の中で行う集団宿泊生活及び諸活動を通じて少年(20歳未満の者をいう。)の心身の健全な育成を図るため設置	
(3) 所管部局	
子ども青少年局 子ども青少年育成部 子ども育成課	
(4) 指定管理者名	
公益財団法人大阪YMCA	
(5) 指定期間	
平成26年4月1日から平成31年3月31日まで(5年間)	
(6) 主な事業	
青少年を対象とする集団宿泊訓練及び自然学習等	
(7) 有料施設の有無	
有(利用料金制)	
(8) 公募・非公募の別	
公募	
(9) 主な利用者	(10) 市内における受益対象者数
指導者が引率する少年の団体等	不特定多数
(11) 近隣の類似施設名及び当該施設の評価に用いられている指標	
無	

2 管理運営状況

(1)特筆すべき事項(地域貢献等の実績、取組、成果等)

和歌山県立博物館との協働により堺市内の小学校に対する磯観察時の学芸員の派遣プログラムを継続して行った。また、防災プログラムに関して新たに開発を行い「防災ラリー」として年度末に作成した「活動の手引き」に掲載した。

(2)利用者サービス

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
指定管理者名	公益財団法人大阪YMCA	公益財団法人大阪YMCA	公益財団法人大阪YMCA	公益財団法人大阪YMCA	公益財団法人大阪YMCA
ア 利用者数 (人)	36,461	32,050	31,659	28,144	
利用者数の算出方法	利用延べ人数で算出				
市による状況分析	台風や大雨の影響による利用中止に伴い減少した。				

イ 稼働率 (%)	54	64	54	62	
稼働率の算出方法	利用のあった日(宿泊翌日も含む)を開館日で割って算出				
市による状況分析	各団体の子どもの人数減少等により利用者数は減少したが、利用日は増加しているため稼働率も増加した。				

ウ 利用者満足度 (%)	68	65	81	97	
利用者満足度の測定方法	事業報告書に記載のとおり (1)調査対象：(利用団体)小・中学校等の利用団体担当者に配布 (主催事業)「家族のつどい」に参加した各家族に配布 (2)調査方法：施設職員による配布、回収 (3)調査期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日 (4)回答数：(利用団体)98(主催事業)49				
市による状況分析	指定管理者の様々な取組により、アンケート結果からも高い利用者満足度を維持している。				

(3)管理体制等

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
ア 職員数(人) ※各年度4月現在	12	13	14	15	13
イ 職員研修(回) ※令和元年度は予定回数	19	18	16	23	11
ウ 要望、苦情等(件)	0	0	0	0	—
エ 事件、事故等(件)	0	1	0	1	—

市による状況分析	適切な職員数を配置し、研修を実施しており、事故苦情への迅速な対応や再発防止の取組をしており安定的な管理体制を整えている。				
----------	--	--	--	--	--

(4) 収支状況(単位:円)

■ 指定管理業務

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(予算)
ア 収入	指定管理料	54,500,000	54,500,000	54,500,000	54,500,000	55,005,000
	利用料金	11,085,100	9,706,400	9,573,600	8,627,900	11,000,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他収入	15,950	15,832	18,394	18,942	20,000
合 計		65,601,050	64,222,232	64,091,994	63,146,842	66,025,000
イ 支出	人件費	37,406,310	36,332,662	36,954,749	38,983,857	39,200,000
	委託料 <small>()内は総支出額に占める委託料の割合</small>	11,416,598 (17.6%)	9,979,429 (16.0%)	10,723,788 (17.0%)	9,727,878 (15.0%)	11,760,000 (17.8%)
	修繕費	993,236	709,555	360,822	369,671	350,000
	光熱水費	8,523,927	8,111,436	7,608,186	8,132,608	8,200,000
	その他経費	6,630,289	7,349,409	7,555,256	7,505,467	6,515,000
合 計		64,970,360	62,482,491	63,202,801	64,719,481	66,025,000
利用者一人当たりの支出額		1,782	1,950	1,996	2,300	—

ウ 収支差額	630,690	1,739,741	889,193	-1,572,639	0
--------	---------	-----------	---------	------------	---

エ 市への納付金の額	—	—	—	—	—
------------	---	---	---	---	---

オ 徴収委託の場合の徴収額	—	—	—	—	—
---------------	---	---	---	---	---

市による状況分析	台風や大雨の影響による利用中止に伴う利用者減少により、利用料金収入が減少し、収支差額もマイナスとなっている。
----------	--

■ 自主事業 (有)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(予算)
ア 収入	3,998,100	4,188,240	4,158,670	4,293,650	7,667,000
イ 支出	3,637,123	3,474,830	3,882,806	4,216,215	7,667,000
ウ 収支差額	360,977	713,410	275,864	77,435	0

エ 市への納付金の額	—	—	—	—	—
------------	---	---	---	---	---

オ 事業数(回)	11	11	11	10	
----------	----	----	----	----	--

カ 参加者数(人)	1,592	1,250	1,149	1,209	
-----------	-------	-------	-------	-------	--

主な自主事業	家族や子どもを対象とした海洋活動などのキャンプ活動
--------	---------------------------

市による状況分析	指定管理者による様々な取組を行い、安定的な自主事業を実施している。
----------	-----------------------------------

3 目標管理、評価等

(1)適正な管理運営の確保

目標管理	評価の指標	事故発生件数・苦情件数	(設定理由) 利用者の安全性確保によるサービス向上
	目標	事故発生0件・苦情0件	(設定理由) 安全で快適な利用をしていただくため
	実績	事故発生1件・苦情0件	(分析) 利用者に対する安全啓発等行っていたが、1件の事故発生があった。安全マニュアルの見直しを図る等、より安全に対する意識の向上を図った。 ※目標未達成時は詳細な原因分析

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事故件数	0件	0件	1件	0件	1件
苦情件数	0件	0件	0件	0件	0件

平等利用、維持管理、人員配置、事故対応、安全・緊急時対策等に関する特記事項	事故発生を受け、海上安全マニュアルの見直し等を行い、安全に対する意識の向上を図った。
---------------------------------------	--

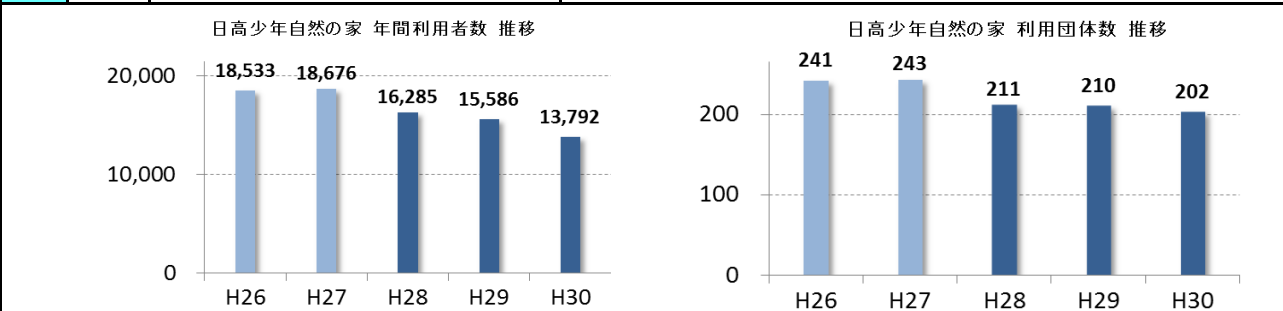
利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	特になし
-----------------------	------

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価		
	評価	B		B	
	具体的な理由	利用者に対する安全啓発を確実にを行い、日々の点検や補修を迅速に行い、利便性や快適性の向上を図ったが、事業報告書に記載のとおり、台風によるうねりの為、船が転覆し乗船者が海に投げ出され、自力で海岸に避難した事故があった。	利用者に対する安全啓発を行い、日々の点検や補修を迅速に対応し、利用者の利便性や快適性の向上を図っており、利用者満足度も高く苦情件数も0件だったが、事業報告書に記載のとおり事故が1件あったためB評価とする。		
対応策等	安全マニュアルの見直し等を行い、より一層安全に対する意識の向上を図り、スタッフへ周知徹底を行った。また、設備等の日々の点検や補修を確実に行っていき防災に取り組む。	事故発生1件あったが、マニュアルの確認及びスタッフへの周知徹底、事前の情報収集から波高等の海の状況把握をより正確に行う等の対策により再発防止に取り組んでいる。また、災害時の対応の事前周知など、利用者に対する安全への啓発も積極的に実施している。			

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(2)利用者サービスの向上への取組

目標管理	評価の指標	利用者数 利用団体数	(設定理由) 利用の実績を把握するため
	目標	21,500人 265団体	(設定理由) 利用者促進につなげるため
	実績	13,792人 202団体	(分析) ※目標未達成時は詳細な原因分析 台風・自然災害等や生徒数減少に伴い昨年より減少した。



利用者サービス、利用促進、自主事業、人権尊重に配慮した情報提供、利用者意見・要望の反映等に関する特記事項	堺市の小学校向けに和歌山県立博物館学芸員の派遣プログラムを継続して行った。防災プログラムを新規プログラムとして開発した。
--	--

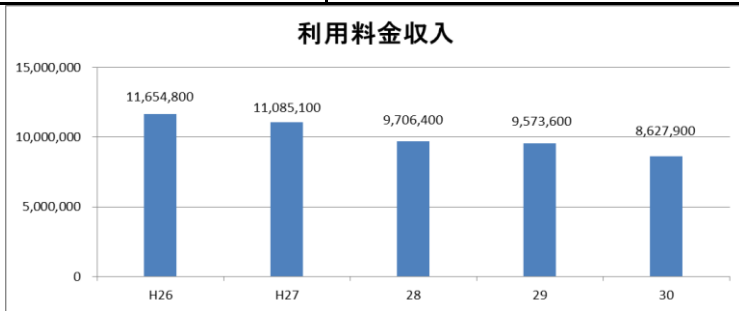
利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	特になし
-----------------------	------

評価等	指定管理者の自己評価	市の評価	
	評価	B	B
	具体的な理由	台風等・自然災害によるキャンセルにより約1200名のキャンセルがあった。また、利用学校数は変わらないが生徒数減少により利用者減があった。	台風や大雨の影響による利用中止に伴い利用者や学校以外の利用団体数が減少し、目標数に到達できなかったが、市内小学校への訪問説明や周知PRチラシの作成及び様々な自主事業等の企画による取組を実施しているためB評価とする。
対応策等	堺市の小学校向けに和歌山県立博物館学芸員の派遣プログラムを継続して行った。防災プログラムを新規プログラムとして開発した。	引き続き市内小学校への訪問説明や周知PRチラシの作成&配架など、指定管理者と協力し、様々な取組を行っていく。	

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組を行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組を行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(3) 収支の実績

目標管理	評価の指標	利用料金収入	(設定理由) 適正な収支による適正な施設運営の把握
	目標	13,500,000円	(設定理由) 安定した施設運営のため
	実績	8,627,900円	(分析) ※目標未達成時は詳細な原因分析 台風等の自然災害や小学校等の生徒数減少により利用者収入が減少した。



収入増加のための取組、収支状況、経営状況、経理事務等に関する特記事項	利用者増加＝収入増加となるため、下見時や当日受け入れ時の対応をより丁寧に行うなど、利用者増加の取組を積極的に実施していく。
------------------------------------	---

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	特になし
-----------------------	------

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価		
	評価	B		B	
	具体的な理由	台風等の自然災害や小学校等の生徒数減少により利用者数が減少し、収入も減少した。また、事業報告書に記載のとおり事故による物品補償が大きな支出となった。	台風や大雨の影響による利用中止に伴う利用者数及び利用団体の減少等により、収入も減少し、目標を達成できなかったためB評価とする。		
対応策等	利用者増加＝収入増加となるため、下見時や当日受け入れ時の対応をより丁寧に行うなど、利用者増加の取組を積極的に実施していく。	事故発生については、マニュアルの確認及び再発防止の対策を実施した。利用者数については、引き続き周知PRを指定管理者と協力しながら取組を行っていく。			

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組を行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組を行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80～100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

【日高少年自然の家】指定管理者評価表（様式1） 正誤表【稼働率】

○指定管理者評価表（様式1）

2 管理運営状況

(2) 利用者サービス

イ 稼働率

誤)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
稼働率 (%)	54	64	54	62	



正)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
稼働率 (%)	75	87	70	62	